

令和3年度 上田市立塩田中学校 学校評価【中間報告】

学校目標	学校づくりの理念とめざす生徒の姿	総合評価					
1 充実した学習を積み上げる 2 たくましい心身を育てる 3 正しい道義心を伸ばす 4 豊かな心情を培う ~考える・鍛える・慈しむ~	☆生徒のよさを引き出し、可能性を広げる教育 ☆地域と共に歩む開かれた学校 ~しおだっ子応援団~ <めざす人間像> ふるさとに愛着と誇りを持ち、知・徳・体が調和し、社会的に自立した人間	○昨年度に引き続き、全ての教育活動においてコロナ禍での対応が求められている。このような中、昨年度は先が見えない状況や不安感から「コロナ禍だからできない(やらない)」「感染拡大防止を最優先して自粛する」等の発想・選択になりがちだったが、今年度は「コロナ禍だからこそ生まれる知恵や工夫」「コロナ禍でも工夫次第でできる」へと臨機応変に発想を転換し、学校目標の具現化に向けた実践につなげられるよう努めている。 ○地域学校協働活動運営委員会(しおだっ子応援団)との連携により、学習・環境整備・行事・スポーツ文化活動の4つの支援ボランティアの方々との交流を通して、学校を支援して下さる方々の思いにふれ、一人一人の生徒が「しおだっ子」としての自覚と誇り、郷土への愛着を高めている。					
	今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策
	①自分の考えを、状況に応じて書いたり話したり表現する力を付ける。	○研究テーマ「自らすすんで問題解決に取り組む生徒の育成」のもと、チーム体制による指導や支援に努めている。ICT機器の活用(GIGAスクール構想)を含め、生徒主体の活動や意見交換の場等を積極的に取り入れることで、自分の思いや考えを表現できるようになってきている。 ○落ち着いた学校生活を送っており、挨拶や清掃等は上級生の姿を見て下級生が学ぶという自然な流れが塩田中生の良さにつながっている。相手の立場や今の状況を見ながら行動(判断)できる力をさらに伸ばしていけるよう支援していく。		○			○生徒の良さを認め、結果にとらわれすぎず、学ぶ喜びや過程を大切に教育活動に努める。生徒間でも取り組みの良さを共に認め合えるよう促し、共有していく。 ○授業アンケートや各調査結果から生徒の実態を的確につかみ、基礎学力の定着を図りながら、主体的な学びを導く授業実践に努めていく。 ○生徒会が重点を置く「日常生活の充実」に関する活動と連携し、挨拶や清掃がさらに高められるようにする。また、師弟同行に努め、挨拶や清掃等、職員自らが積極的な姿勢を示す。
	②目標達成に向かい、最後まで粘り強く取り組む態度を育む。			○			
③挨拶や清掃に進んで取り組み、他の人と協力して物事に取り組める。			○				

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善策・向上策	
学校教育	学習指導	課題が明確で生徒が活躍する授業	学習問題が明示され、生徒の活動の場が工夫されているか	○授業のユニバーサルデザイン化に基づいた授業づくり(年7回の公開授業実践)や教室環境整備を全職員で共有・推進することにより、教師の授業力向上につながっている。 ○中間テストに代えて「単元評価デザイン(単元テストによる評価)」を導入し、短い周期で評価を重ねることにより、生徒の学習意欲が向上し、諸検査でも成果が表れている。 △GIGAスクール構想に基づくタブレット端末の持ち帰りについて、ルール作りの検討が必要。		○			○「授業のユニバーサルデザイン化」「単元評価デザイン」の継続が、生徒のための『分かる授業』につなげられるよう、生徒の実態に応じた教材化の工夫に努める。「何を学ぶ(何を与える)」「どのように学ぶ(何を引き出す)」へ発想の転換し、生徒の主体性を育てる授業を推進する。 ○GIGAスクール構想に基づき、全ての教科(教師)で日常的な授業実践や自主研修を通して、授業改善(一人一台端末の有効活用)に努める。「端末持ち帰り」について具体的に検討をすすめる。	
		個に応じた学習	個々の生徒への配慮と支援が適切に行われているか	○毎月のいじめアンケートや毎学期のアセス調査、日常的な生徒相談などにより、生徒指導専任・生徒支援専任の早期発見につながっている。必要に応じて外部諸機関とも連携を図っている。 ○関係する職員がチームで指導・支援に当たる体制を整えている。 △GIGAスクール構想との関わりも視野に入れ、SNSやインターネットの利用の仕方(情報モラル)について、家庭と連携しながら一層の改善を図る。		○			○「チーム体制での対応」「毎月のいじめアンケートや各種調査の実施」「家庭や地域との連携」等、生徒の変化を迅速かつ的確に把握すると共に、学校・家庭・地域とが一体となって生徒指導・支援が継続できるよう努める。 ○非違行為防止研修の実践を通して、教師自身が自らの人権感覚を磨き、互いの人権・人格を尊重し、生徒が安心して相談できるサポート体制づくりに努める。	
		教師の研修	教師の授業準備や授業展開は適切か	○生徒の規範意識は高く、概ね落ち着いた学校生活を送っている。挨拶については、地域の方から「いつも気持ちの良い挨拶をしてくれて嬉しい」との声もいただいている。 △全体的には良い取り組みになっているが、現状では挨拶や清掃への意識や取り組み方に、生徒間で若干の差も見られる。		○			○「日常生活の充実」に重点を置く生徒会活動との連携を図り、生徒の主体的な取り組みにつなげられるよう、学年や係で支援していく。 ○「挨拶運動(校風委員会)」「縦割り清掃(異学年を合わせた清掃分担)」「学級花壇造り」等の取り組みに見られる生徒の良さや工夫を積極的に発信し、互いに学び合う。	
		家庭学習の充実	生徒の計画に基づき授業とリンクした家庭学習ができているか	○コロナ禍による制限はあるが、感染症対策を工夫した上で臨機応変に実施・開催につなげられるよう努めている。昨年度は一度も実施できなかった授業参観も、今年度は実施することができた。 ○環境整備支援ボランティアの皆さんのご協力により、今年度も学校花壇活動が充実し、たくさんのきれいな花を咲かせることができた。		○			○クラス合唱練習や花壇造り活動、部活動等、十分な感染症防止対策をとった上、感染警戒レベルに応じた活動を継続的に行う。学校行事も同様に、可能な範囲での実施をめざし、生徒の主体的な活動につなげられるよう努める。 ○生徒会活動と連携し、各学年、学級の活動内容がさらに充実できるようにする。	
	生徒指導	適切な生徒理解	生徒の話をじっくり聞いて理解しようとしているか			○				
		生徒に寄り添った支援	状況をふまえた適切な支援が行われているか				○			
		心の内面に入り込んだ指導	個々の良さを認めながら生徒一人一人との対話が行われているか				○			
		状況に応じた生徒の心に落ちる指導	チーム体制で、一貫性のある指導が行われているか				○			
	生活指導	自信をもち、友や地域とつながる挨拶	挨拶の指導目標と手だてを明確にして取り組んでいるか				○			
		自らを磨く無言清掃と美しい校舎	黙想で始まり時間いっぱい無言で清掃が行われているか				○			
		はじめのある時間厳守	チャイムで始まりチャイムで終わる授業・活動になっているか				○			
	教育課程	心を響かせる歌声	生徒が主体的に合唱活動に取り組める計画・支援が行われているか				○			
美しさを感じる心を育てる花壇造り		環境ボランティアと連携して花壇運営が計画的にされているか				○				
心身を鍛え技を磨く部活動		目的意識を持ち、生徒が主体的に取り組む部活運営が行われているか				○				
学校運営	地域との連携	積極的な授業公開と学習支援ボランティアの活用	開かれた授業、地域ボランティアの活用がされているか	○しおだっ子応援団を中心に、たくさんの方から様々な場面でご支援いただいております。塩田中の教育活動の充実が図られています。 △上記のボランティア活動が、保護者や地域にあまり知られていない現状が見られる。		○			○地域のボランティアの方々、高等教育機関等との協力をいただきながら、地域に学び、地域で育つ「しおだっ子」としての活動を実施していく。 ○学校HPや学校だより等により、積極的、継続的な発信に努める。	
		開かれた学校づくり	学校だよりや学年だより、ホームページ等で学校からの情報が発信できているか				○			